

VERY

2

February 2019

[ヴェリイ]

VERY STORE

でお買物

クローゼットまるごと、
“上がるベージュ”に
入れ替えたい!

高橋志津奈さんの
冬こそコンバース主義

ZARAトーク!

「ダウン賢者」の着まわし、拝見!

おうちの収納、
“リバウンドするorしない”
の分かれ道はここ

「隠れ肝っ玉母ちゃん」の
タイムスケジュールがスゴイ!

青木裕子さんに直撃!
「好きなことをとことんやるのが、
30代の今の気持ち」

追っかけママの名品パンツ

冬マンネリ打破は服よりメイク

「ハレの日、ケの日」の習い事

「超ロジカル家事」最新アップデート

誰かのために頑張るあなた自身を置き去りにしないで!

この冬、
自分をもっと
愛してあげたい

ランドをL字型に
ン。料理好きな
2人並んで座っ
でる広さです。
大理石張り。チ
ルは、アメリカ
es社のもの。ダ
ブルはKONAR
にオーダー。

日曜日の風景

何でもない週末の、
何でもない一日
Scene No. 90

本連載で掲載されるたびに反響の大きいKONARA HOUSEが手がけた家。
今回は都内のマンションリノベーションの事例です。限られた環境の中で、
自分たちの好みや思いを存分に実現させた住まい。
今回もまた、並々ならぬ完成度の高い仕上がりです。

撮影/渡辺修身 取材・文/鈴木奈代 デザイン/Permanent Yellow Orange 編集/佐々木 遼



帰並んで料理ができ、 変化を楽しめる家

一家の週末の夜ご飯は長い。「今日は何を飲みたいか?」によって料理を相談しながら食材を買い、夕方早めから調理をスタート。がTVを観ている間に2人で作り、その後、お酒を飲みながら食事をします」。そんな料理好きなお夫婦が、リノベーションで手住まいの中心は、オープンキッチン。デザインだけでなく、使用や収納のしやすさもパーフェクトです。「以前の家は、夫婦でキ立つと『あっごめん』とぶつかってばかり。今は2人でもストレ理ができ、快適です。キッチンに立ち、少しずつ買い足してい

山から都心まで、戸建ても視野に入れて家探しをしていたといん。そうこうしているうちに長女が小学校に入学し、居住エリアれることに。「住環境を変えられないなら、室内を思いっきり自みにしよう」とスケルトンリノベーション前提でのマンション探しえました。3m近い天井の高さと視界が抜ける点が気に入るのマンションを購入。ご主人のこだわりは「完成したときがー、暮らしていくうちにどんどん良くなっていく家」ということ。そを共有できたのが、KONARA HOUSEだったとか。年月を経味わいを増す素材を用いたデザインに加え、全館空調設備なに暮らしてみても「良かった!」と思える提案してもらえたと言い主人がもう一つこだわったのが収納。「家のデザインを魅せるものを出したくなくて」と、構造梁から郵便物やルンバまで、すに出来ないように設計してもらったそう。「とにかく楽しくて、どこ収納するかをずっと考えていた」と笑います。設計終盤にさしか、「『家ができたならルンバを絶対にもう1台買いたい』と私が呟いたら、廊下の収納にルンバ置き場が追加されて」と奥さまも苦笑い。ルンバにまでこだわったデザインの美しさはもちろん、持ち物すべて場所があることで整然とし、空気までが澄み渡って感じられます。家族が寝静まった頃に帰宅するご主人。「帰宅後はソファに座ンテリアとペンダントランプだけを点け、音楽を聴きながらお酒を至福の時間です」。

邸 data

都内の分譲マンション暮らしを経て、リノベーションを前提に築13年のマンション替え。本連載に掲載されたKONARA HOUSE (<https://www.konarahouse.jp>)設計・施工事例がきっかけで、リノベーションを依頼/東京都在住/ご主人昭仁さん(40歳)、主婦の奥さま・理恵子さん(38歳)、長女・はの花ちゃん(8歳)、長男・由(4歳)の4人家族。

にしたい!」と夫婦で決めていた大判タイルは平田タイルのもの。洗面台の天板は鏡の後ろは収納になり、電化製品も置けるようコンセントも装備。2.リビングは壁一面の収納にして、TVやAV機器をはじめ、ものが外に出ることのないよう収納場所を確保。セントルピスを設置。床はオーク材で床暖房仕様。3.寝室はベージュを基調としたクナ仕上がり。窓枠と木製ブラインドで既成のサッシを目隠し。ランプはRestoration Hのもの。





「子供部屋は思いっきり楽しい空間にしたかった」とご主人。家のようなデザインの2段ベッドの内側は、ブルーに塗装して星のシールを貼り、ZARA HOMEのベッドリネンを。勉強用の椅子はビート・ヘインイーク(1・3・5)。「魚をさばくのとパスタは主人の担当です」と奥さま。この日もご主人が、鶏とトマトのパスタと子供用の特製パスタを愛用のフライパンで手際よく調理し、アスティエの食器に盛り付け。サラダとオードブルは奥さまが担当。キッチンの収納扉もすべて白に。収納は内部まで丁寧に作られ使い勝手も抜群(2・6・8・10・11)。リビングの壁面収納の両端には、細々としたものを収納する引出しをオーダー。ラベルを貼って管理(4)。廊下は片側一面を収納にし、ルンバ置き場も(7)。トイレもページュを基調にし、扉は引込戸に(9)。コンパウトで居心地よさそうなお主人のスペース。スケートボードはMoMAで購入(12)。手持ちの衣類の体積を計算し、スリッパ収納もようオーダーした圧巻のクローゼット。帰宅後に衣類を一時的に掛ける場所も確保(13)。





1. インテリアに合うものにと、一番手に入れるのに苦労したのがこのトグルスイッチ。イギリス製のAWAというメーカーのもの。2. ウエイクボードや山登りなど、アウトドア好きなご主人のためのスペースは、壁一面が収納に。INOUTで見つけたStack Boxがスッキリ収まるよう設計してもらったとか。3. 富山県高岡の鋳物メーカー、FUTAGAMIの真鍮鍍金のキッチンペーパーホルダー。真鍮色の水栓金具やキッチンのツマミに合うものにと、ご主人がネットで探したそう。4. シンプルでスタイリッシュ、氷や水も出るデザイン性と機能性を兼ね備えた冷蔵庫となると国産では見つからず、mabe社のものに。隣のワインセラーは、ご主人からのリクエストで婚約時に奥さまがプレゼント。5. エジプト綿を使用した光沢感のある滑らかな肌触りのベッドリネンはベルギーのブランド、Mirabel Slabbinck社製。以前から使用しているベッドは、この部屋に合わせてベッドスカートを製作。6. ご主人が大好きなオランダのインテリアデザイナー、ピート・ヘイン・イクのストूलはシボネで購入。7. エアコンの風が苦手なこともあり、リノベーションでKONARA HOUSEから勧められたGADERIUS社の全館空調システムを導入。それにより、室内の温度が一定に保て、窓のないスペースでも空気がこもったりせずに快適に過ごしているとか。8. リビングの天井から吊るしたシャンデリアはロイズ・アンティークスで。9. ソファはこのスペースに合うデザインで程よいサイズ感で、背もたれが低く圧迫感のないものを探し、3カ月はど待ってやっと届いたばかり。サアラ麻布で。柄と横長のクッションは、カーテンと一緒にラ・タピシエールにオーダー。

家づくりは労を惜しまず、楽しみながら

本連載もきっかけとなり、思いや「好き」と感じられるものを共有できる作り手と出会えた国見さん。プランニングは、ご主人が大まかに描いた図面を尊重して進められ、選1回もの頻度で行われた打ち合わせも、楽しくて仕方がなかったと振り返ります。壁や収納の色を決めるときは、色サンプルを壁に貼り、光による見え方を時間ごとにチェック。収納は、持ちものの量やサイズを正確に把握してと念入りに進め、理想の住まいを手に入れました。